

## はちのハアート広場ひろば交流会キックオフミーティング開催報告書

### 1. 実施概要

文化芸術を取り巻く環境変化や、市内外の先進的・特徴的な取組事例などを学びあうことを通して、既存の取組のブラッシュアップや新たな取組について参加者が自ら考える機会とし、参加者相互の交流やネットワーキングから複数のスモールスタート事業を生み出し、持続可能で幅広い活動につなげていくことを目的として、八戸版プラットフォーム「はちのハアート広場」のセミナー型「ひろば交流会」を実施した。

### 2. 開催日時・場所

令和5年3月25日(土) 10:00~12:00 八戸ポータルミュージアム2階シアター2

### 3. 参加者数

36人(事前申し込みを基本としたが、当日飛び入り2名含む)

### 4. 開催プログラム

イントロダクション:「はちのハ文化のまちづくりプラン」と「はちのハアート広場」の概要説明

トークセッション:テーマ「地域に求められる文化芸術振興の取組」

参加者交流会:時間不足のため、一部の出席者の意見発表のみ。

コーディネーター:はちのハ文化のまちづくりアドバイザーボード委員長  
太下 義之 氏

パネリスト:日本舞踊泉流師範 泉 彩菜 氏  
アートコーディネーター 今川 和佳子 氏  
俊文書道会主宰 西里 俊文 氏  
帆風美術館館長 吉田 章恵 氏

### 5. 内容

行政が一方向的に文化振興をするのではなく、市民中心で文化振興を進めていくことを目標にプラットフォーム事業を進めており、すでに率先して取り組まれている4人のパネリストにそれぞれの取組について事例発表していただいた。

学校や施設に出向いて指導や教室を行っている事例として、日本舞踊の泉氏、俊文書道会の西里氏から始めたきっかけや実際の様子などを発表してもらった。共通の課題としては、活動費用、訪問先の金銭的負担など金銭面的なところが挙げられた。

アートコーディネーターの今川氏と帆風美術館の吉田氏からは企業メセナの視点でお話をいただき、アートによる地域づくりとして、企業の社会貢献事業としての文化活動への取組や企業と文化の関わり方について発表してもらった。

文化活動を行なっている参加者から、他団体との繋がりや金銭面などの課題が挙げられたほか、パネリスト同士の交流により新しい取組のきっかけが生まれるなど、横の繋がりを広げることができた。

パネリスト 泉 彩葉氏



パネリスト 今川 和佳子氏



コーディネーター 太下 義之氏



パネリスト 西里 俊文氏



パネリスト 吉田 章恵氏

